

授業計画

学年	区分	教科名	科目名	授業時間	対象
中学2年	必修	芸術	美術	週2時間	中2全生徒
到達目標	①目で見た対象の情報を正しく手に伝え、短時間で正確に描く(中級)。 ②名画から目標となる構図のあり方を学び、鑑賞能力を高める。 ③遠近法を身につける。 ④正しい彫刻刀の持ち方手を切らない彫り方を学ぶ。 ⑤透明感の表現方法を学ぶ。				
学習教材	教科書 『美術2・3上』(光村図書) 副教材 なし				
クラス編成	クラス単位				
成績評価方法	絵画 : 拡大縮小構図模写 40%、着彩 30%、額デザイン 15%、額工作 15% 彫刻 : 彫り方3種の仕上げ 30%、デザイン 20%、塗り 20%、やすり仕上げ 10%、レリーフ仕上げ 20%				

年間スケジュール

学期	学習内容	備考(指導方法など)
前期	名画の模写と額縁制作	完全模写の方法を学ぶ。構図を学ぶ。額縁のベース制作を同時に行う。 キャンパスへの下書きと着彩の指導。
	前期中間試験	
	名画の模写と額縁制作 立体カード制作(教育実習)	名画の模写に合わせた額縁制作の指導。使用はカッターとのりのみ限定し、より特徴のある表現を模索させる。 開くと動きのあるカード制作。紙の特性を知り、生かした作品作り(クリスマスカード)を目指す。
	前期期末試験	

学期	学習内容	備考(指導方法など)
後期	木彫レリーフ 一点透視図法を使った部屋を描く	正しい彫刻刀の持ち方や彫り方を完全にマスターさせる。 遠近法の一方法を学ぶ。
	後期中間試験	
	瓶を描く レタリング 連結模様のデザイン	透明感のあるモチーフを絵の具で表現させる。 明朝体を学び、バランスの取れた文字の書き方をマスターする。 切れ目のない連結模様を制作するためにデザインを考え、再び彫刻刀使用の再確認をする。手ぬぐいに連続模様をスタンプする。
	後期期末試験	